

令和元年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第58回）

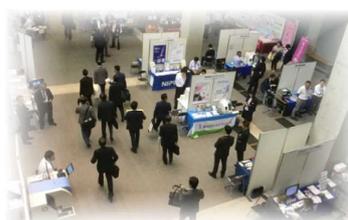
去る令和元年10月12日（土）、13日（日）の両日に渡り、令和元年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第58回）を長良川国際会議場・都ホテル岐阜長良川を会場として開催いたしました。学会初日の10月12日（土）は台風19号の接近に伴い、会員の皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。公共交通機関の計画運休がある中、日臨技会員673名、賛助会員29名、学生18名、招待者等8名の計728名の参加をいただきました。多くの方にご支援とご協力いただき、誠に感謝申し上げます。

一般演題では演者や座長の欠席が相次ぎ、演題の取り止めや急な座長交代が各会場で発生することとなりましたが、スタッフの臨機応変な対応と学会参加者の積極的な協力により、大きな混乱にはいたらなかったようです。このような状況下ではありましたが、発表会場での演者の緊張感、聴衆者の真剣さは台風の接近も忘れさせるほど受け止めました。やむを得ないことですが、学生や一般市民、特別講演講師の方々の安全を配慮して、学生フォーラム、市民公開講演、中高生向け進学進路支援ガイダンスの企画は中止とさせていただき報道等で災害が発生している地域もあることから学会式典も取り止め、情報交換会を食事会に変更して余興等の華やかな企画一切を無くすこととしました。

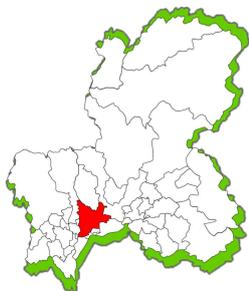
2日目は朝から晴天でした。学会も本来の雰囲気を取り戻し、プログラムも円滑に消化されていきました。本学会で試験的に組まれた企画の「日臨技精度管理調査の部門別の基本的考え方」では多くの方に足を運んで頂き、“良い内容だった” “継続的に行って良いのでは” “年度末の総合調査報告会の代わりになると嬉しい”などの意見を頂き、反響は大きいと感じました。学会最後の企画であった宮島議員の国政報告会には150名の参加を頂き盛況に行われました。そして、報告会終了後に会場前方の壁を左右に開き、目前に迫る金華山とその頂きに構える岐阜城の『映え』の景色を参加者に眺めていただけた時は、実行委員一同が学会の締めくくりを感じ安堵する瞬間でもありました。

台風が接近する中、学会を開催させていただきましたが、参加者の皆様が行き帰りの道中無事であったことが何よりもありがたいと感じた学会でした。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

会長 浅野 敦



岐阜県内 各地の健康イベント報告



第40回ぎふ市民健康まつり

岐阜清流病院 森さゆり

令和元年11月4日(月)快晴の中、岐阜市文化センターにて「ぎふ市民健康まつり」が開催されました。医療にかかわる12団体が「高齢期の健康について」をテーマに市民参加体験コーナーを設置しました。

臨床検査コーナーは「尿検査」「血管年齢」「頸動脈エコー」検査を31名のスタッフで協力して運営しました。毎年楽しみにされている市民の皆さんが、開始時間を待って長蛇の列を作っていました。そんな中で、いつもと違う仲間と協力し、市民の方へ笑顔で検査をして、丁寧に説明している様子はさすが臨床検査技師プロ集団です。

臨床検査コーナーは「尿検査232名」「血管年齢744名」「頸動脈エコー136名」もの検査を実施しました。

今年はどの検査も、市民の方の待ち時間の負担の軽減ができるよう工夫してみました。さらに、協力参加スタッフにも他団体のコーナーを見学体験できる時間取ってみました。参加した仲間ときっと楽しんで一日を過ごせたと思います。

来年は11月8日(日)の予定となっています。楽しみながら仲間づくりのチャンスとして是非参加してみてください。



第 30 回 高山市市民健康まつり



下呂市立金山病院 長谷部正仁

令和元年 10 月 6 日の日曜日に高山市役所・保健センターにおいて第 30 回高山市市民健康まつりが行われ、『こころとからだの健康づくりを習慣に!』をテーマに 30 を越える団体が、体験型のイベントや PR 活動の展示などを出展しました。岐阜県臨床検査技師会としても、飛騨地区会員の 10 名がスタッフとして集まり、骨密度測定と物忘れ相談プログラムを実施し、測定から結果説明まで行いました。

骨密度測定については、午前の部と午後の部の整理券を準備しましたが、どちらの部も配布開始からすぐに券が無くなり、市民の皆さんの健康に対する関心が高いことがわかりました。検査される方が途切れてきた時には、整理券が無くても検査できることを案内し、多くの方々に検査を受けていただき喜んでいただきました。

物忘れ相談プログラムは、整理券の配布はしないで、骨密度測定が終わった方を中心に案内し実施しました。この検査はタッチパネル式の機器で、クイズ形式で問題が出され回答するので高齢者の方でも手軽に取り組んでいただきました。

骨密度測定は 180 名、物忘れ相談プログラムは 41 名の方々に検査を受けていただき、市民の皆さんに健康について考えていただける良い機会となりました。また、検査説明の後に岐阜県臨床検査技師会名の入ったポケットティッシュを配布し、我々の活動をアピールする事が出来ました。



第 24 回大垣市 市民の健康広場

(株) メディック 森 愛子

市民の健康広場に参加する機会を頂き、血管年齢を測定する検査をやらせて頂きました。

検査センターで働いている私にとって、人と直接向き合い検査をする機会がないため初めての事だらけで、新鮮な気持ちになると同時に少し不安にもなりました。もし高い値がでたらどう声掛けすれば良いのかなど、困ったこともありましたが、周りの支えもあり検査できたこと、検査を終えた方が満足そうに帰られるのを見ると嬉しくなりました。一日という短い時間ではありましたが、貴重な体験をする機会を得ることができ充実した時間を過ごすことが出来ました。

HIV 予防啓発活動と HIV 無料検査会に参加して

一般財団法人総合保健センター 澤野晴夫



12月1日は皆さんご存知のとおり世界エイズデーです。全国各地で様々なイベントが開催される中、岐阜県臨床検査技師会では11月16日(土)に岐阜共立大学の大学祭でHIV 予防啓発活動を行い、11月17日(日)には岐阜県の無料HIV 検査会に参加いたしました。

共立大学の大学祭では、西濃保健所の方と共に学生の方、イベントをされる方、来場された方に HIV についての正しい知識を持っていただくためのパンフレットや、保健所で受けられる無料検査の案内をポケットティッシュとお茶を添え200部を配布いたしました。

HIV 無料検査会は、岐阜駅のハートフルスクエアGの2階を会場に、男性と性的接触を有する男性を対象として行われ、受検された35名の方の HIV 迅速検査のお手伝いをいたしました。また、保健所の方が受検された方に HIV 感染防止対策の指導も行われ効果的なエイズ対策が図られました。

エイズはもはや死の病ではなく、HIVに感染しても感染したことを早く知り、治療を早期に始め継続することでエイズ発症を防ぎ健康的な社会生活が送れることや、治療を継続してウイルス量が大きく減少すれば、ほかの人に感染させるリスクがゼロに近いレベルまで下げられることが確認されています。このような情報がまだまだ認知されていないので、今回の啓発活動や情報を得る場所の提供が必要で、その活動を通して技師会が地域貢献できていることをあらためて実感いたしました。2日間の活動にご協力いただきました技師会員の皆様、有り難うございました。



第58回日臨技中部圏支部医学検査学会お疲れ様でした。

準備・運営にかかわった岐臨技会員の皆様本当にお疲れ様でした。また悪天候の中、ご参加頂いた会員の皆様にも感謝申し上げます。

「台風19号」との闘いでもありました。予定されていた企画、イベントが中止を余儀なくされ、交通網寸断となったことで参加者大幅減少も懸念されました。結果的に2日目の晴天もあり、参加者数は予定より少なかったことは事実ですが728名の参加をいただきました。刻々と増えていく“予定変更” “座長、演者欠席”にも浅野大会長の指揮の基、臨機応変に対応していただいた会員の皆様には頭が下がる思いでした。また大きな事故、被害につながらなかったことも幸いでした。「臨機応変に対応……」これからはいろいろな意味で大切な言葉になっていくような気がしました。次号は秋季拡大研修会、各地区のイベントを中心に掲載したいと思います。皆様残り少ない「令和元年」、健康に留意し、頑張りましょう！

(文責 高崎)

発行所(一社)岐阜県臨床検査技師会

〒500-8384 岐阜市藪田南3丁目5番地10 コスタ岐阜県庁前603号

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

発行責任者 浅野 敦

編集者

高崎 昭彦

松浦 康博

種村 久子

E-mail

giringi-office@giringi.jp